法然上人 開 宗 御 和 讃







ポイント注意 明るく、力強く。

●「摂取不捨」は声をおさえて「み光りを」で盛り上げ、喜びと感謝の思いで 「仰ぎて八百五十年」となります。報恩の気持ちでお念仏となります。

開 宗 和 讃

成田 教淳 作詞

- 1 選挙五年の養弥生 植師は御齢也半堂 弥陀の救いの手をのべて 崩き給いし浄土的 損敢不捨の み光を 仰ぎて八音五半年 この喜びをことほぎを 憩いあらたに報謝せん 南無向弥陀仏 南無向弥陀仏 南無向弥陀仏 南無向弥陀仏
- 2 最適のわが身を煩悩を 夢め結えと告述の 流れにみ名を称うれば 尊き教え ありがたき 光明倫照 角影の ながむる人にすみわたる この喜びを 宿縁を 憩いあらたに報謝せん 南無向弥陀仏 南無向弥陀仏 南無向弥陀仏 南無向弥陀仏
- 3 祖師のお遺訓 たのもしや 生けらば念仏の坊つもり 死なば浄土にまいりなん とてもかくてもこの身には 競いわずらうことぞなき この身このまま教わるる この喜びを惣徳を 憩いあらたに報謝せん ・ 南無荷弥陀仏 南無荷弥陀仏 南無荷弥陀仏 南無荷弥陀仏